



MEDICAL NEWS

ホームページアドレス <http://hospital.kikkoman.co.jp/>

正常分娩とはどういうものなのでしょうか

産婦人科・小児科センター長 宇田川 秀雄



出産（医学的な意味合いでは分娩ともいいます）にはいろいろな経過があります。大きく分けると、帝王切開によるお産と、いわゆる「下からのお産」です。後者は医学的には経膈分娩といいますが、日常の用語としてはあまり使われないようです。

母子手帳には、以前にはなかった「分娩方法」という欄があり何らか記入することになっています。帝王切開以外をどのように書くかは一定の決まりがなく各施設で判断しており、帝王切開の他すべてを「正常分娩」と表現する場合もあります。

医学用語としては、日本産科婦人科学会で「正常分娩」を定めています。「正期（37〜41週）に自然に陣痛が発来し成熟胎児が経膈的に前方後頭位にて娩出し、母児ともに障害や合併症がなく、予後良好であった分娩をいう。さらに分娩経過において、通常の範囲内の会陰切開以外の手術的操作を行うことなく、分娩所要時間が初産婦では30時間未満、経産婦では15時間未満である分娩をいう。」というものです。つまりかな

りの限定があることがわかります。逆にいえばその他は異常な分娩で、母児に危険を及ぼしかねないので、これらを順次見ていきましょう。

1、正期（37〜41週）に自然に陣痛が発来

早産が正常と言えないことは申し上げるまでもありませんが、陣痛がなかなか来ないとうなるでしょう。予定日を2週間過ぎて42週に入ると過期妊娠、過期産といわれ、異常となります。もちろんその日に急に変化が起こるわけではなく、人によって前後がありますが、一般に日が経つにつれ胎盤は徐々に機能が低下していきます。つまり血流状態が悪くなり、胎児に十分な酸素や栄養を与えにくくなり、胎児の状態が悪くなったり、とくに分娩時の負担に耐えられなくなったりします。そのため多くの施設では予定日を過ぎると、いろいろな状況を考え合わせながら徐々に分娩誘発も考慮しています。（ただ誘発も容易とは限りません。）

2、前方後頭位

前方後頭位は聞き慣れない言葉かと思えます。頭位というのは赤ちゃんが頭から生まれてくることです。骨盤位（さかご）などではないということです。頭位分娩の多くは赤ちゃんがお母さんの後側を向いて生まれてきます。お産の始まり段階でその向きでなくても、お母さんの骨盤力と赤ちゃんの頭の形の関係から、多くの場合はだんだんそのようになってしまうことが多いのですが、なかには異なる方向を向いたままのことがあります。その場合はいわずつかえてしまう状態となって進行が芳しくない状態となります。時間がかかっても少しずつ進んで生まれることもあれば、結局進まずに断念して帝王切開を要することもあり、その区別判断はむずかしいところです。

3、通常の範囲内の会陰切開

会陰というのは膣と肛門の間を指しますが、この部分に切開を入れることを会陰切開といいます。

学会の用語としてはこれ自体は正常分娩に含まれています。ここは生まれる直前最後の狭い妨げとなる部分です。もちろんキズはつかないほうが良いわけで、時間をかけてできるだけ出口を伸ばすことによって傷つけないようにする考えもあります。ただ、出生直前の段階では頭部の圧迫や臍帯の圧迫が起こりやすく、赤ちゃんのリスクも大きくなりがちです。つまり出そうでない状態は赤ちゃんにあまり好ましくありません。また母体にとっては切開せずにキズができた場合の不規則な裂傷よりはきれいなキズの方が良いという考えがあります。ただ一方で自然のキズのほうが治りやすいという考えもあり、施設や担当者によっても考え方の違いがあります。

4、分娩の所要時間

ここで時間というのは、お産の日の早い遅いではなく、始まってから進む速さが速い遅いことです。分娩の経過時間は、速い人と遅い人さままで、ゆっくり少しずつ進んでも問題ない場合も少なからずありますが、一般には時間がかかり過ぎると母体も疲労し、赤ちゃんに負担がかかり、感染の危険も増すと考えられます。とくに不都合なのが、それなり痛いわりに進行しないというケ

スで、この場合、陣痛が弱く不十分なのか、ほんとうに形や大きさのためにつつかえて進行しないのか、判断が難しい場合があります。痛みの感じ方や表現が人さままであることと、陣痛の強さを客観的に測定するのは容易ではないためです。

陣痛が弱い（微弱陣痛）と考えられた場合には、子宮収縮剤の使用を考慮します。ひところこれによる過強陣痛（最悪は子宮破裂）が注目され、このくすりが世間で嫌われた時期がありました。分娩がある程度進んだ段階で陣痛が弱くなって進まない場合などには、非常に価値のあるくすりです。もしこれを使えないと、母体や赤ちゃんが徐々に弱っていくか、あるいは帝王切開で出すしかありません。

なお帝王切開以外を「自然分娩」ということもあります。これも正確とはいえません。自然に陣痛が始まり、自然に進行していったものが自然分娩です。

お産にも個人差が大きく、心配し過ぎるのも良くありませんが、帝王切開以外のお産にもいろいろの問題が含まれていることをご理解いただければと思います。

院長コラム

お酒はほどほどに

キッコーマン総合病院・院長 久保田 芳郎

「酒は百薬の長といへども満（よろず）の病は酒よりこそ起れ」。兼好法師の“徒然草”の一節です。飲酒によって気分が高揚したり（中枢作用）、あるいは身体全体が熱気を帯びて（血管拡張作用）、排尿回数が増加（利尿作用）したりしますが、アルコールは急性胃粘膜病変や急性膵炎などの障害性の作用や、意識障害・呼吸障害などの急性アルコール中毒になることもあります。また、飲酒が慢性的になると、肝障害、慢性膵炎、神経障害、心筋症などの臓器障害に見舞われたり、精神病ともいえるべきアルコール依存症になったりします。

アルコール1gあたりの熱量は7.1kcalで、清酒1合（=1単位）（1単位はビール中瓶1本、日本酒1合、焼酎お湯割1杯、ウイスキーダブル1杯、ワイングラス2杯に相当しアルコール量は約22g）の除去には2～3時間が必要で、

約160kcalのエネルギーが産生されます。一日2単位以内（女性はその半分）、週10単位以内が“ほどほどのお酒”といえます。

お酒は飲み方によっても体への影響が違ってきます。何も食べずにお酒だけ飲めばアルコールの血中濃度は一気に上がってしまいます。何か食べながらゆっくり飲めば、それだけ吸収も遅くなるので酔いもゆっくり進むこととなります。

一人で飲めば、飲み方も速くなります。できるだけ相手をつくり、話題を豊富に持って楽しく飲むことが大切です。会社の同僚と飲むときはもちろん、家で飲むにしても一人で黙って飲むのではなく、たまには奥さんと二人で会話をしながら“おいしい記憶”をつくってみてはいかがでしょうか。酔うにつれ、見られた奥さんが美人に見えてきますよ。

常勤医師紹介

外科



院長(外科)
久保田 芳郎

専門分野 消化器外科
大腸肛門外科

東京大学1974年卒業

医学博士、東京理科大学薬学部客員教授、日本大腸肛門病学会評議員、指導医・専門医、日本消化器病学会関東支部会評議員、日本人間トック学会評議員、指導医・専門医、認定医、日本外科学会認定医、日本消化器外科学会指導医、認定医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本医師会認定産業医

外科部長
齋藤 晋祐



専門分野 消化器外科、大腸外科

筑波大学1992年卒業

医学博士
日本外科学会専門医
日本消化器学会がん治療認定医
日本癌治療学会がん治療教育認定医

外科医師
仁禮 貴子



専門分野 乳腺外科
消化器外科

信州大学2004年卒業

日本外科学会専門医
マンモグラフィ検診制度管理中央委員会読影認定医
日本がん治療認定医
日本消化器学会胃腸科専門医

外科医師
近藤 祐地



専門分野 大腸外科

旭川医科大学2005年卒業

外科医師
赤松 薫



専門分野 消化器外科

福井大学2010年卒業

日本外科学会専門医
マンモグラフィ検診制度管理中央委員会読影認定医

内科



院長代理・診療部長
三上 繁

専門分野 消化器内科
肝胆膵内科

千葉大学1986年卒業

医学博士、東京理科大学薬学部客員教授、日本胆道学会評議員、日本肝臓学会東部会評議員、日本消化器病学会関東支部会評議員、日本消化器病学会指導医・専門医、日本肝臓学会指導医・専門医、日本超音波医学会指導医・専門医、日本消化器内視鏡学会指導医・専門医、日本人間トック学会指導医・専門医、認定医、日本消化器学会胃腸科認定医、日本内科学会認定医、日本感染症学会CD(感染制御医師)、日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、全日本病院協会保健指導士

内科部長
秋本 政秀



専門分野 消化器内科
肝胆膵内科

千葉大学1990年卒業

医学博士
日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医
日本肝臓学会専門医

循環器内科部長
大野 則彦



専門分野 循環器内科

山形大学1993年卒業

医学博士
日本内科学会総合内科専門医
日本循環器学会専門医
日本医師会認定産業医

消化器内科部長
清水 史郎



専門分野 消化器内科

富山医科薬科大学1995年卒業

医学博士
日本感染症学会ICD(感染制御医師)
日本医師会認定産業医
日本臨床検査医学会臨床検査管理医

生活習慣病内科部長
佐々木 信和



専門分野 生活習慣病一般

鳥取医科大学(現鳥取大学)1997年卒業

日本内科学会認定医、日本加齢医学学会専門医、日本医師会認定産業医、日本病態代謝医学学会常任委員、日本病態代謝医学学会認定指導医、日本人間トック学会専門医、認定医、日本糖尿病学会指導医、日本臨床栄養学会認定臨床栄養指導医、全日本病院協会保健指導士、日本循環器学会専門医、人間トック検診情報管理指導士(人間トックアドバイザー)

内科



内科医師
大西 和彦

専門分野 消化器内科

昭和大学2002年卒業

医学博士
日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医
日本肝臓学会専門医
日本消化管学会胃腸科認定医



内科医師
児島 隆太

専門分野 消化器内科

千葉大学2012年卒業

副院長・整形外科部長
田中 利和



専門分野 整形外科一般
上肢機能外科

旭川医科大学1985年卒業

医学博士、日本手外科学会代議員、日本肘関節学会評議員、東日本整形外科学会評議員、日本整形外科学会認定医、日本手外科学会専門医、日本整形外科学会認定脊髄脊髄病医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本体育協会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定リハビリテーション医、日本医師会認定産業医

外科系センター長
落合 直之



専門分野 整形外科一般
上肢機能外科

東京大学1973年卒業

医学博士、国立大学法人筑波大学名誉教授、日本整形外科学会専門医、日本手外科学会名誉会長、専門医、日本臨床スポーツ医学会評議員、日本肘関節学会名誉会員、日本末梢神経学会名誉会員、日本創外固定・骨延長学会名誉会員

リハビリテーション科部長
野内 隆治



専門分野 整形外科一般
定の外科

信州大学1996年卒業

医学博士
日本整形外科学会専門医

整形外科医師
和田 大志



専門分野 整形外科一般
股関節外科

金沢大学1999年卒業

医学博士
日本整形外科学会専門医

整形外科

整形外科医師
小林 彩香



専門分野 整形外科一般

筑波大学2009年卒業

日本整形外科学会専門医

整形外科医師
大山 和生



専門分野 整形外科一般

筑波大学2012年卒業

産婦人科

産婦人科・小児科センター長
宇田川 秀雄



専門分野 産婦人科一般

東京医科歯科大学1974年卒業

医学博士
日本産科婦人科学会専門医
母体保護法指定医
日本婦人科産婦人科学会専門医

産婦人科医長
高嶺 智子



専門分野 産婦人科一般

山形大学2002年卒業

日本産科婦人科学会専門医
母体保護法指定医

産婦人科医師
石山 俊輔



専門分野 産婦人科一般

群馬大学2008年卒業

日本産科婦人科学会専門医
母体保護法指定医

泌尿器科

泌尿器科部長
大村 稔



専門分野 泌尿器科一般

東京医科歯科大学1996年卒業

眼科

眼科部長
尾羽澤 実



専門分野 眼科一般
緑内障

東海大学1994年卒業

医学博士
日本眼科学会専門医

小児科

小児科部長
神田 恵津子



専門分野 小児科一般

小児科医師
細井 洋平



専門分野 小児科一般

近畿大学2007年卒業

日本小児科学会小児科専門医

麻酔科

麻酔科部長
市原 靖子



専門分野 臨床麻酔
悪性高熱症

東邦大学1990年卒業

医学博士
埼玉医科大学客員准教授
日本麻酔科学会専門医・指導医
麻酔科標榜医
日本ベインクリニック学会専門医



外来診療担当表

2016年12月1日現在

診察科	診療案内	月	火	水	木	金	土	
内科	総合/消化器	三上 大西	清水	秋本	清水	三上 大西	秋本 兒島	
	生活習慣病	佐々木	土屋	佐々木	塚越※	高野	佐々木	
	呼吸器			高橋	鈴木	安藤		
	腎臓	太田 (火曜日または土曜日)						
	循環器	大野	大野	木股※	石川	大野	川本	
	リウマチ/膠原病			住田※	大山	横澤		
	消化器	清水		大西	今村※	兒島		
午後	生活習慣病		佐々木※			高野		
	呼吸器			高橋	鈴木	安藤		
	循環器			第1・3・5週 木股※				
	禁煙外来			佐々木※			佐々木※	
外科	総合	久保田 仁禮	赤松 近藤	齋藤 川口	赤松 近藤	久保田 交替制	齋藤 仁禮	
	ストーマ外来 乳腺外来			齋藤※			仁禮※	
婦人科	総合	高嶺	市川	榎本	石山	高嶺	石山	
	総合	石山	市川	榎本	宇田川	宇田川		
産科	総合	石山	市川	石山	宇田川	宇田川	高嶺	
	総合	宇田川	市川	高嶺	石山	高嶺		
小児科	総合	細井 (神田)	細井	神田	神田 (細井)	細井	1・3・5 細井 2・4 神田	
	専門外来						原則第3のみ※神経 初診不可	
	総合 (月・水・金 当日予約可)	神田※		神田※		細井※		
	予防接種 (新生児、1カ月以外)	神田※・細井※	神田※	神田※	常勤医師※	細井※	常勤医師※	
	専門外来		神田※				原則第4のみ※内分 初診不可	
夕方	総合		常勤医師■		常勤医師■			
整形外科	総合	落合 田中(新患優先) 大西	和田 小林 大山	田中 小林 三浦(第1・3週) 福山(第2・4週)	野内 和田 吉岡 大西 第2・4週	落合(新患優先) 田中 大山	野内 和田 筑波大医師交替制 月1回 山崎	
	専門外来		小林 股関節外来 和	膝関節外来 吉岡(第4週)	足の外科 野内 脊椎外来 酒井(第2・4週)	手の外科 田中 股関節外来 菅		
リハビリテーション科	午後			野内				
耳鼻咽喉科	総合		高橋	谷口	小島	鄭	第1・3・5週 森下 第2・4週 遠藤	
	総合		高橋	谷口▲	小島	鄭		
眼科	総合	尾羽澤	都築	尾羽澤 河野	交替制	尾羽澤	尾羽澤	
	午後		都築※		篠田※			
	夕方	総合		尾羽澤※				
皮膚科	午後	総合		鈴木※		上野		
泌尿器科	総合	大村※	大村	大村	大村※	大村	第1・3・5週 大村 / 第2・4週 阪口	
	ストーマ外来			大村※		大村		
脳神経外科	午前	総合	丸山			山本		

● 全科で予約診療を予定しています。お電話でのご予約受付時間は月曜日～土曜日(休診日除く)の午前9時から午後4時まで。

ご予約専用電話番号 **04-7123-5901** (直通)

受診の際は診察券をお忘れなく、月初めの受診日には保険証をお持ちください。

ご予約受付は、診察ご希望日の前日までとなっております。

● 外来受付時間 午前8時～午前11時、午後1時から午後3時(皮膚科は午後1時～午後2時)

小児科の午後の診療は完全予約制となりますが、月・水・金は当日予約ができます。

(小児科のみ一般診察は午後2時30分から)

● ■印の小児科夕方診察は火曜日と木曜日(常勤医師による診察)です。ご来院前に電話でご確認ください。(TEL 04-7123-5911)

● 都合により診察担当医師が変更になる場合があります。

● ※印の診察は、完全予約制です。

● ▲印の診察は、手術のため休診となる場合があります。

循環器・消化器病検査担当表

2016年12月1日現在

検査名		月	火	水	木	金	土
胃内視鏡	午前	齋藤/赤松/近藤	三上/児島	清水/大西/児島	大西/仁禮	秋本/児島	清水
腹部超音波	午前	秋本/清水/児島	秋本/大西	仁禮/近藤/赤松	三上/児島	仁禮/近藤/赤松	三上
乳腺・甲状腺超音波	午前						
乳腺超音波	午後						仁禮
頸動脈超音波	午後	担当検査技師		担当検査技師		担当検査技師	月2または3回* 担当検査技師
大腸内視鏡	午後	三上/秋本/大西/児島	齋藤/近藤/赤松	秋本/清水/児島	仁禮/近藤/赤松	交代制	
心臓超音波	午後	大野		大野		大野	

*頸動脈超音波の土曜日の検査は、月によって実施日に変動があります。何週目の土曜日かは、診察時にお問い合わせ下さい。

専門外来(予約)・特別診療のお知らせ

詳しくは各外来または予約係にお尋ね下さい。

2016年12月1日現在

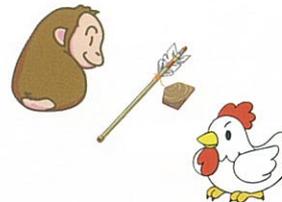
●外 科	乳腺外来 (土曜日午後) ストーマ外来 (水曜日午後)	担当：仁禮貴子 担当：齋藤晋祐・大村 稔 鈴木麻子 (皮膚・排泄ケア認定看護師)
●整形外科	手の外科外来 (金曜日午後) 足の外科外来 (木曜日午後) 膝関節外来 (第4水曜日午後) 脊椎外来 (第2・4木曜日午後) 股関節外来 (金曜日午後)	担当：田中利和 担当：野内隆治 担当：吉岡友和 担当：酒井晋介 担当：菅谷 久
●小児科	循環器外来 (第1・2・3・5木曜日午後) 神経外来 (第3土曜日午前) 内分泌外来 (第4土曜日午後) 予防接種 (月曜日～土曜日午後) *土曜日午後の予防接種は原則小学生以上のお子様を対象です。	担当：赤木美智男 担当：広瀬宏之 担当：磯島 豪
●内 科	禁煙外来 (水曜日午後・土曜日午後)	担当：佐々木信和
●内科、循環器内科、外科、 整形外科、眼科、泌尿器科 産婦人科	セカンドオピニオン外来	担当：対象診療科の医師 当外来をご利用される時の注意事項、申込み方法は、下記URLにてご確認ください。 http://hospital.kikkoman.co.jp/gairai/senmon.html

2016年、2017年 キッコーマン総合病院カレンダー

■は休診日

2016 12 December

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



2017 1 January

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2 February

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

3 March

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

おもな非常勤外来担当医師紹介

内科

腎臓内科
(火曜日または土曜日)

おた よしあき
太田 義章

専門分野 腎臓内科

千葉大学1977年卒業
医学博士
日本内科学会認定医
日本腎臓病学会専門医
日本医師会認定産業医

内科
(木曜日午後)

いまむら たかあき
今村 隆明

専門分野 消化器内科

千葉大学1996年卒業
医学博士
日本内科学会認定内科専門医
米国内科学会正会員
米国内科学会正会員
日本消化器病学会専門医
日本肝臓学会専門医

生活習慣病内科
(火曜日午前)

つち や たかふみ
土屋 天文

専門分野 糖尿病、内分泌代謝

群馬大学1995年卒業
医学博士
日本糖尿病学会専門医
日本内科学会認定医

生活習慣病内科
(木曜日午前)

つかごし のあ
塚越 乃亜

専門分野 糖尿病、内分泌代謝

獨協医科大学2000年卒業
日本内科学会認定医
日本糖尿病学会専門医
日本内科学会認定医

生活習慣病内科
(金曜日午前・午後)

たかの のりよし
高野 倫嘉

専門分野 生活習慣病一般

聖マリアンナ医科大学2011年卒業

呼吸器内科
(木曜日午前・午後)

すずき ようへい
鈴木 洋平

専門分野 呼吸器内科

順天堂大学2006年卒業
日本内科学会認定医

内科

呼吸器内科
(金曜日午前・午後)

あんどう かつとし
安藤 克利

専門分野 呼吸器内科

東京慈恵会医科大学2006年卒業
医学博士、日本内科学会認定医・
総合内科専門医、日本呼吸器学
会呼吸器専門医、日本呼吸器内
視鏡学会気管支鏡専門医、日本
感染症学会感染症専門医、日本
アレルギー学会アレルギー専門
医、ECFMG Certificate

呼吸器内科
(水曜日午前・午後)

たかはし なおこ
高橋 直子

専門分野 呼吸器内科

東京慈恵会医科大学2010年卒業
日本内科学会認定医

リウマチ・膠原病内科
(水曜日午前)

すみだ たかゆき
住田 孝之

専門分野 膠原病・リウマチ

千葉大学1979年卒業
医学博士、筑波大学教授内科(膠
原病・リウマチ・アレルギー)、
筑波大学附属病院副院長、日本
リウマチ学会指導医・専門医、
日本内科学会認定医、日本リウ
マチ学会理事、日本シェークレ
ン症候群学会理事長、日本臨床
免疫学会理事、日本免疫学会評
議員、日本リウマチ学会Modern
Rheumatology 編集長

リウマチ・膠原病内科
(金曜日午前)

よこさわ まさひろ
横澤 将宏

専門分野 膠原病・リウマチ

旭川医科大学2008年卒業
日本内科学会認定医

リウマチ・膠原病内科
(木曜日午前)

おおやま あやこ
大山 綾子

専門分野 膠原病・リウマチ

筑波大学2012年卒業

整形外科

整形外科
(土曜日1回)

やまざき まさし
山崎 正志

専門分野 脊髄外科

千葉大学1983年卒業
医学博士、筑波大学教授(整形
外科)、日本整形外科学会専門医、
日本整形外科学会認定脊椎脊
髓病医、日本脊椎脊髄病学会脊
椎脊髄外科指導医、日本整形外
科学会代議員、日本脊椎脊髄外
科学会評議員

整形外科

脊椎外来
(第2・4週木曜日午後)

さかい しんすけ
酒井 晋介

専門分野 脊椎外科

筑波大学1997年卒業
医学博士
日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会認定脊椎脊
髓病医

整形外科、膝関節外来
(木曜日午前、第4水曜日午後)

よしおか ともかず
吉岡 友和

専門分野 膝関節外科

筑波大学1999年卒業
医学博士
日本整形外科学会専門医
日本体育協会公認スポーツドク
ター

股関節外来
(金曜日午後)

すがや ひさし
菅谷 久

専門分野 股関節外科

筑波大学2004年卒業

外科

外科
(水曜日午前)

かわぐち よねえい
川口 米栄

専門分野 内視鏡外科、肝胆膵外科
乳腺外科

東京大学1987年卒業
日本肝胆膵外科学会評議員、日
本外科学会指導医・専門医・認
定医、日本消化器外科学会認定
医、日本消化器外科学会消化器
がん外科治療認定医、マンモグ
ラフィ検診精度管理中央委員
会誌影認定医

眼科

(木曜日午後)

しのだ けい
篠田 啓

専門分野 網膜硝子体、
視覚生理

慶應義塾大学1990年卒業
医学博士
日本眼科学会指導医・専門医

(火曜日午前・午後)

つづき きょうこ
都築 恭子

専門分野 眼科一般

東京女子医科大学1998年卒業
日本眼科学会専門医

眼科

(木曜日午前)

はなの げん
花園 元

専門分野 眼科一般、視覚生理

慶應義塾大学2000年卒業
医学博士
日本眼科学会専門医
日本抗加齢医学会専門医

(水曜日午前)

こうの けいこ
河野 慶子

専門分野 眼科一般

東海大学2000年卒業
日本眼科学会専門医

(金曜日午前)

やまもと ようへい
山本 洋平

専門分野 脳神経外科一般、
脳腫瘍

東京慈恵会医科大学2006年卒業
日本脳神経外科学会専門医

(火曜日午前)

まるやま ふみあき
丸山 史晃

専門分野 脳神経外科一般、脳血管障害(脳梗
塞、脳出血、脳腫瘍)、頭頸部外科

東京慈恵会医科大学2009年卒業
日本脳神経外科学会専門医
日本DMAT隊員

皮膚科

(金曜日午後)

うえの まきこ
上野 真紀子

専門分野 皮膚科

東京医科歯科大学2003年卒業
医学博士
日本皮膚科学会専門医

(水曜日午後)

すずき るみ
鈴木 瑠美

専門分野 皮膚科

東京医科歯科大学2006年卒業

耳鼻咽喉科

(水曜日午前・午後)

やぐち ゆういちろう
谷口 雄一郎

専門分野 中耳疾患、
鼻副鼻腔疾患

東京慈恵会医科大学1996年卒業
医学博士
日本耳鼻咽喉科学会専門医
日本睡眠学会認定医

小児科

(第1・2・3・5木曜日午後)

あかぎ みちお
赤木 美智男

専門分野 小児循環器病学、
医学教育学

東京大学1979年卒業
医学博士
杏林大学医学教育学教授
日本小児科学会小児科専門医

産婦人科

婦人科
(水曜日午前・午後)

えのもと ひでお
榎本 英夫

専門分野 産婦人科一般

東京医科歯科大学1983年卒業
日本産科婦人科学会専門医

産婦人科

婦人科・産科
(火曜日午前・午後)

いちかわ てっぺい
市川 鉄平

専門分野 産婦人科一般

獨協医科大学2013年卒業



臨床工学技士の紹介

臨床工学技士とは、医師の指示の下に、生命維持管理装置の操作（生命維持管理装置の先端部の身体への接続、または体からの除去）及び保守点検を行うことを専門とする医療職種です。生命維持管理装置とは、人の呼吸・循環・代謝の各機能の一部を代替または補助することを目的とする装置のことをいいます。当院が所有している生命維持管理装置としては、人工呼吸器・血液浄化装置等があります。

臨床工学技士の仕事は、臨床業務と医療機器管理業務に大別することができます。臨床業務としては、血液透析をはじめとする血液浄化療法、また心臓カテーテル検査・治療の補助があります。医療チームの一員として医師その他の医療関係者と緊密に連携し、常に患者さんの状態を把握し患者さんの状況に的確に対応した医療を提供すると同時に、生命維持管理装置及び関連する医療機器の操作に関して必要とされる技術の習得や情報収集に努めています。医療機器管理業務としては、点滴の際に使用する輸液ポンプやシリンジポンプ・人工呼吸器・除細動器・AEDなどの操作、安全に使用し機器の性能を維持するための点検、そして使用方法等について勉強会や研修会の開催を行っています。

当院のAED設置箇所は、2階病棟・中央処置室・生理検査室・リハビリテーションセンターの4カ所であり、毎週土曜日に消耗備品や異常の有無について点検を行っています。

当院には2名の臨床工学技士がおり、主に臨床工学室や病棟にて業務を行っておりますので、よろしくお願いいたします。



朝食のすすめ

食事量や運動量を見直し、健康的な身体づくりをスタートさせましょう。
毎日を元気に過ごすために、朝ごはんを食べる事からはじめてみませんか。

朝ごはんを食べると…



朝ごはんの欠食※は男女ともに多く、20～30代でピークになることが近年問題とされています。

※欠食とは、①食事をしなかった場合 ②サプリメントなどによる栄養素の補給・栄養ドリンクのみの場合 ③菓子・果物・乳製品・嗜好飲料などの食品のみを食べた場合 以上3つの合計のことです
(厚生労働省/平成25年「国民健康・栄養調査」より一部改変)

朝ごはんを
食べていなかった人

まずは「食べること」を習慣化しましょう

おにぎりやサンドイッチ、バナナ&ヨーグルトなど、準備が簡単で手軽に食べられるものから始めましょう。さらにそれを続けることが大切です。



朝ごはんを
食べている人

献立のバランスを工夫しましょう

エネルギーになる + 体を作る + 調子を整える
ごはん、おにぎり 卵、ハム、豆乳 味噌汁、サラダ
パン、シリアルなど ヨーグルトなど 野菜スープなど



臨床栄養科

編集後記

先日は54年ぶりに11月の降雪がありました。子どもは雪で大喜びかもしれませんが、大人は雪かきなど大変なことが多いです。いよいよ冬本番に突入し、今冬は、あと何回雪が降るのでしょうか。皆さん、雪道の歩行には気をつけて転ばないように、雪かきでは腰痛をおこさないように気をつけましょう。

(事務部総務課 澤邊 元哉)

～ 病院に寄せられるご意見について ～

2012年8月に新病院を開院し4年が経過しました。病院建物が新しくなったこともあり、外来の患者さんの人数は増えております。そのため、設備面や待ち時間で患者さんやご家族にはご不便をおかけしており申し訳ございません。皆さまのご意見を真摯に受け止めてご利用者さまの満足度向上のために、歩みを止めることなく改善を続けてまいります。

スタッフ募集

正社員：看護師(病棟)、助産師、臨床工学技士
パート社員：看護師、看護助手

■ご応募は

キッコーマン総合病院 採用

検索

<http://hospital.kikkoman.co.jp/recruit/index.html>

発行 キッコーマン総合病院広報委員会

〒278-0005 千葉県野田市宮崎100番地

TEL.04-7123-5911 (代表)

FAX.04-7123-5920